

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	野田川保健センター駐車場整備事業					
事業の概要	当センターは保健福祉サービスの拠点施設として、各種検診、子育て支援事業、高齢者健康増進事業等様々な事業が行われているが、駐車場がなく利用に支障をきたしていた。今般、当センター前の用地買収が完了したことに伴い、駐車場を整備し、利用者の利便性の向上、地域福祉の拠点整備を図るため当該事業を行うものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	14,012	本年度事業費	14,012	交付金交付額	7,000
事業の必要性	当センターは保健福祉サービスの拠点施設として各種事業が行われているが、駐車場がなく事業開催時等には路上駐車を余儀なくされ交通事故も懸念されるなど、周辺住民の生活環境を悪化させる要因となっており、早急な駐車場整備が必要不可欠である。					
事業の有効性	地域福祉の拠点整備により、利用者が快適・安心して利用できるようになるとともに、地区内児童等の心身の健康増進に寄与でき、有効性の高い事業といえる。					
事業の効率性	以前は、駐車場がないため他の施設を使用した事業実施も余儀なくされ、その際、会場設営、準備、片付け等の時間・労力を要していたが、本整備により、これらの問題が解消され、スタッフの稼働時間の短縮又他の保健福祉事業も併せて実施できることとなり、効率的な事業展開が可能となった。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 自分の健康は自分で守るという意識を向上させるため、センターを利用した健康教育、栄養教室等の回数を増やすことができ、同時に事業参加者の増加に繋がるものとなった。					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果 町民の健康づくり、健康管理、子育て支援、母子保健の拠点として積極的に周知することができた。					
	5 行財政改革に資する成果					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。